

砂鉄川の砂鉄と、岩手の木炭で鉄を造った!!

第6回

たたらサミット in 盛岡

報告

●はじめに

「第6回たたらサミット」が、平成18年10月7日～10日に盛岡市と釜石市で開催されました。

「たたら」とは、日本古来の製鉄方法で、砂鉄を原材料とし、木炭を燃料及び還元材として良質の鉄を造る技術です。みちのく岩手では、昔はこの技術で「わらび手刀」や「舞草刀」、「密造銭」などが造られており、「たたら」が盛んに行われたようです。

このサミットは、全国の「たたら」好き人間の勉強会であり、地域の関連産業を巻き込み、産業やものづくり教育を振興しようとするものです。

平成8年（1996年）に第1回「たたらサミット」を東京都で開催後、隔年毎に各地（名古屋市・高知市・新見市・室蘭市）で開催して、たたら製鉄を勉強し、情報交換と情報発信をしております。参加者は、関連会社・大学・研究機関・小・中・高等学校・市民グループなどです。

●内 容

(1)10月7日(土) たたら講演会 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
参加者延べ200名

- ・「蝦夷と鉄」など地域の鉄文化史に関することから、南部鉄器、茶の湯釜、木炭、南部杜氏など幅広い報告がありました。
- ・たたら実習報告では一関市大東町大原の内野小学校・菊池浩平君の発表があり、地域の「ポッパの会」が支援する「たたら」によるものづくり教育の様子がよく分かりました。
- ・鉄瓶と釜の展示会、鉄器販売会、釜石製鉄資料展示、ポッパの会の写真展示などが併行して行われました。
- ・盛岡市文化振興事業団のご協力で「南部鉄瓶展」も併設されました。

(2)10月8日(日) たたら競演会 盛岡地域地場産業振興センター（盛岡手づくり村）
2日間で15,000人の見学者

- ・「ポッパの会」による砂鉄川の砂鉄と、木炭協会による木炭を使用し、各地のたたら自慢が技を競う会です。7台のたたらが並び争った結果、ケラ（還元された鉄）量と形の良い岩手大学チームが地の利を活かして優勝しました。
- ・南部鉄器協同組合の「こしき溶解」による鉄瓶造り実演も同時に行われ、たたら製鉄とのつながりを再確認しました。
- ・江戸千家、増澤先生のご好意で南部鉄の釜で立てたお茶がふるまわれました。

(3)10月9日(祝) たたら講習会 盛岡地域地場産業振興センター（盛岡手づくり村）
参加者40名

- ・レンガ積み炉造りから操業までを永田和宏会長が教える「たたら教室」です。5基のたたらを操業し優秀な生徒さんが卒業されました。

(4)10月9～10日 釜石見学会 橋野高炉跡、釜石鉱山 他 20名の参加

- ・釜石の製鉄関連施設や遺跡の見学会でした。鉄鉱石を掘り出した鉱道では「仙人秘水」が採取されています。



鉄瓶職人の綱取さん質問対応



たたら競演会 炎ちよろちよろ



たたら講習会の記念「お母さん、僕たちががんばったね!!」

●まとめ

- ・たたら操業を多くの方々に見ていただき「ものづくり」の楽しさと大切さ、そしてそれが地域の振興につながることを分かっていただけだと思います。
- ・来年度は釜石市を中心に「大島高任による洋式高炉150周年記念祭」を開催予定ということで、ぜひこちらにもおいでくださるようご案内いたします。
- ・ご協力、ご支援いただいた方々に心より御礼申し上げます。

●お問い合わせ先 研究開発支援グループ TEL：019-631-3827 FAX：019-631-3830